

# 課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)
作成日	16.7.23	消防本部	救急課	救急	-	-	-

棚卸表コード	No.
2消防01	5

業務名称	救急業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	市民の健康な生活を守る。	救命率(1ヶ月生存者数/心肺停止傷病者搬送人員)	8.06%	10%	92	20,076
担当業務目的	市民の健康な生活を守るため救急患者に対し、適切な救急処置を行い医療機関へ搬送する。	心拍再開率(心拍再開者数/心肺停止傷病者搬送人員)	32.23%	40%	92	20,076

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)					
01 救急業務の高度化を推進する				15,269	救急業務高度化推進事業 ・救急救命士2名、救急隊員4名を養成 ・救急隊員の研修 ・救急消耗品等の購入、医療資機材修繕 ・雄和地域へ高規格救急車の導入
心拍再開者数	68人	85人			
救急隊員の育成 救急車両、救急装備品の充実					
02 メディカルコントロール体制の充実を図る				3,459	救急業務メディカルコントロール体制運営事業 ・秋田市救急医療協議会の開催(年2回) ・救急活動に関する医学的観点からの事後検証 ・救急救命士の再教育や就業前教育(病院実習) ・特定行為を行う際に必要な救急担当医師からの指示 ・気管挿管を行うための病院実習
医師からの指示 指導 助言	100%	100%維持			
医療機関との連携					
03 救急活動を指揮支援する					救急指揮支援車を運用し、救急現場へ医師や資機材を搬送し、救急活動を支援する。
指揮支援回数	1回				
救急指揮支援車の活用					
04 応急手当普及啓発を推進する				600	救急業務高度化推進事業 ・応急手当普及啓発事業 (平成6年から市民の2割にあたる7万人を目標に応急手当普及啓発の推進、H16は168回開催し、2,915人が受講)
応急手当普及率(受講人員)	54,280人	60,000人			
広報活動の充実 応急手当指導員の養成 応急手当普及員の養成 救命講習会の実施					

活動概要 (担当業務目的達成のための手段 (2桁レベル))			事業費 (千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)		
担当業務目的達成のための主な手段 (4桁レベル)				
05 救急統計の作成				救急出動件数および内容等を統計化し、今後の救急活動に役立てる。
情報蓄積量 (救急搬送人員)	8,513件	10,000件		
庁内 LANによる情報の一元化				
06 救急業務の感染事故等の対策を図る			748	救急業務高度化推進事業 ・救急現場活動における安全管理体制 ・救急救命士賠償責任保険、救急業務賠償責任保険 ・感染性医療廃棄物処理 ・感染防止衣の着用化推進
救急事故件数	0件	0件		
感染事故予防 救急救命士、救急隊員賠償責任保険に加入 結核患者搬送の罹患予防				
07 患者等搬送事業者の認定と指導				民間による患者等の搬送事業者を認定し、乗務員に対して利用者の安全を確保するため、搬送業務に必要な知識・技能について講習を実施する。
認定 (更新) 件数	1件			